

精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究

研究概要

医療が目覚しく進歩した現代社会においても、こころの病は患者さんの苦しみはもちろんのこと、社会に及ぼす影響も大きいことが知られています。病気等の寿命短縮年数と生活障害をおよぼす健康寿命の合計した健康被害の指標（障害調整生命年 disability adjusted life years DALY）によると、日本の DALY では精神疾患は 19%と第一位であり、がん(18%)、心血管障害(16%)と続き、自殺も 4%を占めています。精神疾患の診断や治療に関する研究が進められ、そのエビデンスに基づく診療ガイドラインも作成されていますが、それが実地臨床に反映され、役立っているかどうかについてはまだ十分にわかっていません。そこで本研究においては、精神科における診療ガイドラインの講習を行い、その医療機関における治療に影響を与えるかどうかについての検討を行い、精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果を検証し、より適切な治療が広く行われることを目的としております。

当科での研究代表者

溝越泰壽 天理よろづ相談所病院白川分院 精神神経科

統括研究代表者

橋本亮太 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

研究デザイン

前向き観察研究

登録症例規模および研究期間

2017 年 4 月 1 日以降に天理よろづ相談所病院白川分院精神科において精神疾患の入院治療を受けて退院した患者さん。

- ・ 患者登録にかかる調査対象期間：2027 年 3 月 31 日まで
- ・ データ解析期間：倫理委員会承認時～2027 年 3 月 31 日

研究参加施設

EGUIDE プロジェクトチーム

(国立精神・神経医療研究センター、東京女子医科大学、
杏林大学、他)

<https://byoutai.ncnp.go.jp/eguide/eguide-team.html>



研究の開示

本研究の結果は、個人が特定できない形式で学術会議や学術雑誌において公表する予定です。なお、本研究の成果物は本研究に登録された患者さんには属しません。

倫理的配慮、個人情報の取り扱いについて

本研究は文部科学省・厚生労働省「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守して実施されます。本研究では、天理よろづ相談所病院白川分院 B 病棟において精神疾患の入院治療を受けて退院した患者さんに関して、カルテに記載された内容（性別、年齢、診断、処方内容、治療方法、症状評価）のみを対象としデータ解析いたします。したがって本研究のために患者さんの負担となるような新たな検査、治療法が追加されることはありません。また、データは匿名化することで個人情報情報は消去いたします。匿名化されたデータは研究代表施設である国立精神・神経医療研究センターに送付されます。通常の診療で得られた内容のみを使用する研究ですので、患者さん一人ずつの直接の同意はいただくずに、この掲示などによる患者さんへのお知らせをもって実施されます。患者さんにおかれましては研究の主旨をご理解頂き、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

万一、この研究への参加を希望されない場合、途中から参加取りやめを希望される場合には主治医に直接お申し出いただくか、下記の天理よろづ相談病院白川分院の下記の連絡先にご連絡下さい。拒否されることで患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

また、研究に対しての質問・苦情等がございましたら、下記の天理よろづ相談所病院白川分院の下記の連絡先にご連絡下さい。

本研究に関する連絡先

天理よろづ相談所病院白川分院 精神神経科

責任医師：溝越 泰壽

TEL：0743-61-0118